

レジュメ・「日韓合意」は、第二の「国民基金」(アジア女性基金)～これでは解決にならない。 2016年6月18日 全水道会館

鈴木裕子

- 1 日韓外相の「合意」に至るまで
両国首脳の政治的妥協・妥結 和田春樹「問われる慰安婦問題解決—
日
韓首脳会談以降を展望する」(『世界』2016年1月号、参照)
- 2 日韓外相会議での「合意」
 - 1 「合意」事項の内容
 - 2 日韓両国首脳の思惑
 - 3 米国の思惑
- 3 日本国内での反応
 - 1 政党関係
 - 2 安倍首相サイドでお意見が分かれる
- 4 日本の市民団体、知識人・法律家たちの反応
- 5 「国民基金」(アジア女性基金)と日韓合意
 - 1 「国民基金」に先行する「民間基金」構想～元「慰安婦」への生活支援も考え方(上野千鶴子氏ら。結局、挫折。1993年=94年)
 - 2 村山内閣における「国民基金」=「民間基金」構想の収斂(上野氏によれば横領)国家責任をのがれるための政策 失敗

参考文献

- 拙編著『朝鮮人慰安婦』岩波ブックレット、1991年
『従軍慰安婦・内鮮結婚』未来社、1992年
『「従軍慰安婦」問題と性暴力』未来社、1993年
『フェミニズムと朝鮮』明石書店、1994年
『戦争責任とジェンダー 自由主義史観と日本軍「慰安婦」問題』未来社、1997年
『天皇制・「慰安婦」・フェミニズム』インパクト出版会、2002年

『フェミニズム・天皇制・歴史認識』インパクト出版会、2006年

『日本軍「慰安婦」関係資料集成』上下 明石書店、2006年(編)

『資料集 日本軍「慰安婦」問題と「国民基金」』梨の木舎、2013年
(編)